

山梨県印刷工業組合

乙女湖をウォーキング！

ACTIVE KUMIAI

山梨県印刷工業組合（笠井健夫理事長）は、昨秋琴川ダム（乙女湖）周辺ウォーキング大会を実施した。当組合には共済・福利・厚生委員会、加藤武委員長）があり、福利厚生制度の一環として会員及び従業員とその家族を対象にウォーキング大会を企画実施している。

今回の会場となった琴川ダムは、平成20年6月に完成、山梨市牧丘町柳平の1級河川琴川に建設された多目的ダムで、琴川および笛吹川の水害防除、琴川沿川の既得用水の安定化及び河川環境の保全等のための流量の確保、峡東地域の新規水道水取水ならびに発電を目的に造られた。ダムの規模は、高さ64メートル、堤頂上262メートルの重力式コンクリートダムでダム標高は1,464メートルであり一年の半分近くは冬で氷点下20度にもなる場所がある。



琴川ダム(乙女湖)にて



組合員によるバーベキューも行われた

当日は好天に恵まれ参加者は、10時頃ダムに到着1時間30分ほどカメラを片手に写真を撮りながら周辺の散策やハイキングを楽しんだ。昼には八丁堀で委員会が前日から用意した肉や野菜などを焼き、山女魚の塩焼きも楽しんだ。最後には家族で参加した女性たちによる最高に美味しい豚汁（芋汁）を堪能した。

当委員会は、ウォーキング大会の他ポウリング大会も年1回実施しており歴史を重ねた結果現在では会員の間に浸透し組合の福利厚生制度運営に大いに貢献している。